

独立行政法人 日本芸術文化振興会
第34回 契約監視委員会 議事要旨

開催年月日	令和7年12月17日(木)
委員名簿 (五十音順・敬称略)	石山 恵一(独立行政法人日本芸術文化振興会監事) 黒石 陽子(東京学芸大学名誉教授) 千葉 尚路(弁護士) 藤川 裕紀子(独立行政法人日本芸術文化振興会非常勤監事)
議事次第	1.委員長の選出及び委員長代理の指名について 2.連続一者応札・応募等事案フォローアップ(令和7年度分)について(審議) 3.令和7年度調達等合理化計画における進捗状況について(報告) 4.その他
審議点検対象	連続して一者応札・応募等となった案件(令和7年度) ※一者応札・応募等事案フォローアップ票による
総括	(1)審議方法概要と結果 契約金額100万円以上かつ令和7年度の調達と前回の調達が連続して一者応札・応募となった16件について、フォローアップ票及び関係書類による説明を受け、契約監視委員会のコメントを決定した。 なお、連続一者応札・応募の改善の取組として、次の点に留意すること。 ・仕様の見直し、手続きの早期化、公告期間の長期化、準備期間の十分な確保、競争参加資格の要件緩和等、調達手続きにおける一層の参加拡大を図ること。 ・劇場特有の業務であって、継続して一者応札・応募等フォローアップの対象となっており、今後も参加者の増が見込み難い状況にある案件については、これまでの契約監視委員会における審議の推移を踏まえ、調達方式の見直しを含めた検討を行うこと。 (2)令和7年度調達等合理化計画における進捗状況について 令和7年度独立行政法人日本芸術文化振興会調達等合理化計画のうち、重点的に取り組む分野と調達に関するガバナンスの徹底について、進捗状況の報告を受けた。